文政四年創業

全国伝統的工芸品甲州水晶貴石細工

土屋華章

CRAFTS CRYSTAL QUARTZ, SINCE 1854

その技と心に出逢う

7代目・土屋 隆

匠

JAPAN TRADITIONAL CRAFTS CRYSTAL QUARTZ

土屋華章にしかできない「ものづくり」を求めて

一九〇余年にわたり受け継がれてきた技術や技法をじっくりと噛み砕き、温めることで、新たな魅力を引き出していく―。
それは土屋華章にしかできない「ものづくり」です。
匠の手によってつくりだされるほかに二つとないもの。一人のためだけにつくられる唯一つのもの。
そんなストーリーを感じてもらえるものづくりを、これからも追い求め続けていきます。

甲州水晶貴石細工は昭和51年通商産業大臣から全国伝統工芸品に指定されました。

←皇后美智子様にもお選びいただいた《ほおずきペンダントシリーズ》。

温故知新

明治時代の工房風景

昭和初期

6代目・土屋積

水晶加工のはじまりは、今から三百年以上前にさかのぼります。甲斐の国・御岳で産出された良質な水晶は、当初神仏にまつわる玉などに、門外不出の技もとで加工されていました。

初代・宗助は御岳昇仙峡にある金桜神社より、その秘伝の技を伝授され、文政四年（1821年）に甲府城下・柳町で水晶加工所兼販売店を開業しました。

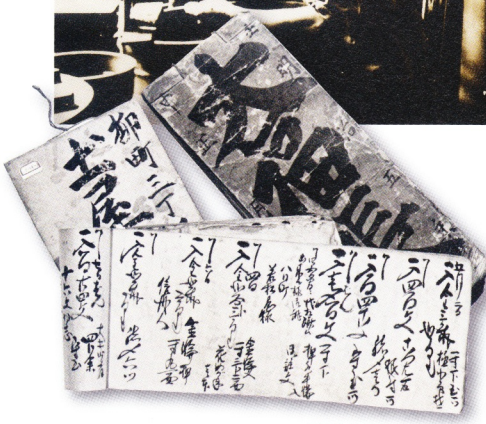
二代目・宗八は眼鏡のレンズなど、水晶のより精密な研磨を確立。三代目・松華は明治初頭、印鑑の篆刻技術を東海道一帯に教え広めました。

四代目・華章はそれまでの根付や簪などの水晶細工製品を美術彫刻品や装身具に広めるとともに、研磨加工用動力機械を開発し、生産体制の合理化に成功しました。

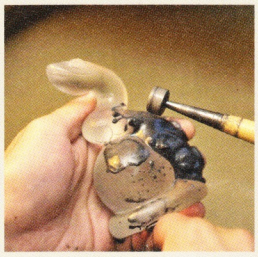
五代目・亀之助は業界の組織化や技術者の育成など水晶業界の近代化に奔走。さらに六代目・穣は西洋彫刻の技術を取り入れた新しい形の伝統工芸に取り組みました。

そして創業から一九〇年余り…土屋華章は現在、七代目・土屋隆へと受け継がれています。

脈々と伝え継がれてきた技術や技法。それらを改めて訪ね求めることで、土屋華章のものづくりの新たな魅力を打ち出していきます。


嘉永年間の大福帳

190年、7代にわたる土屋華章の歴史は、技術の伝承に止まらず、【時代に即した技】として進化していく歴史でもあります。その功績が認められ、代々黄綬褒章や勲五等瑞宝章、瑞宝単光章などの褒章や叙勲をいただいております。



水晶・鶏つがい

ものづくりの心とともに

江戸時代…
町人文化華やかなりし文政の頃から
受け継がれてきた土屋華章の
《ものづくりの心》…
これまでも、これからも

めのう香炉

めのう茶碗

めのう櫛

INFORMATION

JR ご利用の場合
JR中央本線甲府駅よりバスで15分、湯村温泉入口で下車し、徒歩2分。
(またはJR甲府駅北口よりタクシーで約10分)

マイカーご利用の場合
中央自動車道甲府昭和ICより、国道20号線県道富士見バイパス線を約6km。(所要時間約15分)

中央自動車道・甲府昭和インターを降り、<昇仙峡・湯村方面>の看板方向<向かって 左側>にR20を出てください。R20に出てすぐ左に曲がる側道がありますのでこちらも<昇仙峡・湯村方面>の看板に沿ってお曲がりください。アルプス通りに出ます。

有限会社　土屋華章製作所
住　　所　〒400-0073 山梨県甲府市湯村 1-13-11
T E L　055-252-3485
F A X　055-252-3486
E-MAIL　kasho@mx3.nns.ne.jp
営業時間　AM9:30 ～ PM5:00
駐 車 場　普通車 10 台 (大型バス可)

工房見学では、伝統工芸士の技を間近で見ることができます。

工房では、勾玉磨きなどの工房体験・工房見学も行っております。(要予約)

店は湯村温泉郷にございます。甲斐路めぐりにお出掛けの折には是非お立ち寄り下さいますよう、お待ちしております。

工房見学をご希望の場合は、お電話にてご予約くださいませ。